

3/28 星期日

安保法問い合わせ続ける

あす施行各地でデモ

東京・渋谷では、若者たちは行かない！ 主権者は至る安^つ全^{ぜん}保^ほ障^{じょう}関^{かん}連^{れん}法^{ほう}。「これからも問い合わせ続けていく」。施行直前の日曜、各地の街頭で声が上がった。▼1面参照

が法施行を前に企画し、約300人（主催者発表）が参加した。

がやりたい放題しているのは
は私も感じる。止めなければ
ば」と話していた。

大阪市では、中之島の市
中央公会堂で「廃止しよう
！ 戦争法とめよう！
辺野古新基地建設 関西集
会」があった。約一千人分
の席が埋まり、立ち見も出
る中、沖縄県名護市の稲嶺
進市長が「辺野古もそうだ
が、安保法に反対と言つた
けでなく、廃止に追い込む
ことが重要」と述べた。

(44) 集会のあとには抗議行進も。参加した会社員の女性の拠点がある兵庫県伊丹市内。女性は「『夫を戦場に送り出すことになるかもしない』と心配する奥さんもいます」と語った。

A black and white photograph capturing a protest rally. In the lower-left foreground, a prominent banner is held aloft, featuring large Japanese characters and smaller text that reads "憲法の破壊を許さない!" (We will not tolerate the destruction of the Constitution!), "集団的自衛権容認 反対!!" (Opposition to the recognition of collective self-defense rights!!), and "憲法9条を守る和歌山弁護士の会" (The Bar Association of Wakayama Prefecture for the Protection of Article 9). Behind the banner, a dense crowd of protesters is visible, many holding up their own signs and banners. One sign in the background clearly displays the English words "PEACE NOT WAR". The overall atmosphere is one of a large-scale political demonstration.

①安全保障関連法の廢止を訴えてデモ行進する高校生ら＝東京都渋谷区②「憲法の破壊を許さない！」と書かれた横断幕を持つて練り歩く人たち③いずれも27日、和歌山市